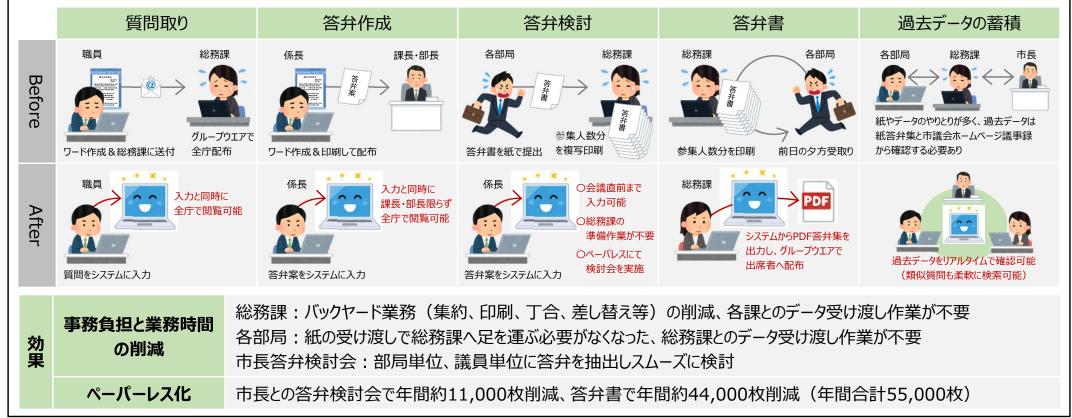
22 「議会答弁検討システム」で事務負担・印刷物を大幅削減【福島県福島市】



▶ 内製「議会答弁検討システム」に、市議会の質問取り~答弁作成~答弁検討における データを集約し全庁情報共有。作業時間削減等の業務効率化とペーパーレス化を実現

事業の概要

- 市議会の質問取り、答弁作成、答弁検討の一連の流れ全てにおいて、Word/Excelデータ・紙媒体による作業を無くし、内製システムにデータを集約することで、全庁情報共有による答弁検討業務に移行した。
- 「仕事の流れは変えずにやり方を変える」、「一部の部署からスタート」でスムーズに全庁に導入。



22 「議会答弁検討システム」で事務負担・印刷物を大幅削減【福島県福島市】



取組の経緯・きっかけ、概要を教えてください。

ANIMODITATE CONTINUE CANCELLIC

市長は常々**職員に業務改革と意識改革を求めており**、今回**議会答弁をまとめる一連の業務に焦点を当てました**。 特にバックヤードの職員にかかる負担を改善したいと考えました。



(福島市)

一方、**議会答弁に関連する民間ソフトウェアは見あたらず、自らの手で部局を超えて使えるデータベースシステムを作る**ことで省力化を図り、併せてペーパーレス化したいと考えました。



そこで、Microsoft Accessをフレームに、VBA、ADO、SQLを使って開発しました。

システム作成や全庁的な取組にした工夫や職員の方の声を教えてください。

平成30年の開発当初より、アジャイル的に機能改善を繰り返しました。開発側、担当者も同じ職員という意見交換しやすい環境の中で、細かな要望にも、僅かでも業務時間を短縮できるなら機能に組み込み「現場に即した仕様で効率が良いもの」に成長していきました。



システム導入にあたり「今までの仕事の流れを変えるのか」との抵抗感を持つ職員もいるので、**まずは庁内2つの部だけで導入**しました。その後、**市長から「答弁検討会はシステムで行う」との号令があり、一気に拡大**しました。

職員からは、「他の人が書く答弁をリアルタイムに参照できて便利」、「過去の類似データを検索、引用できて良い」、「ワードに質問を入力してから書き始めるのではなく、質問を選んで入力という手順がラク」との声が寄せられています。



今後の展望を教えてください。

当システムは民間事業者にて商品化が進められています。



現在**100を超える自治体から問い合わせ**があり、当市システムを流用することで、広く事務改善が低コストで図られることを期待しています。

☆担当:福島市 政策調整部 デジタル改革室☆

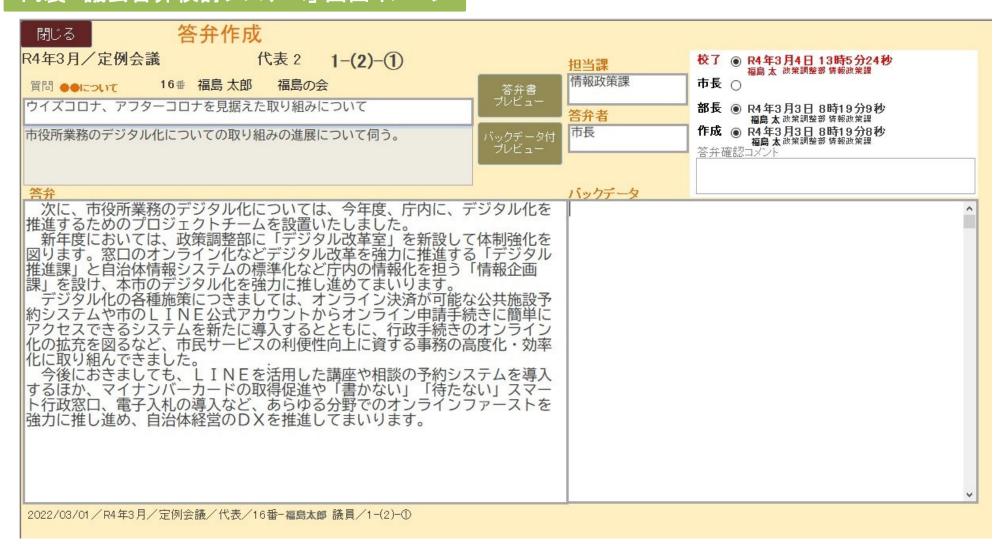
【参考情報】 福島市人口:27.3万人

関連URL:福島市デジタル化の推進(https://www.city.fukushima.fukushima.jp/shise/kekaku/digital/index.html)

22 「議会答弁検討システム」で事務負担・印刷物を大幅削減【福島県福島市】

参考資料

内製「議会答弁検討システム」画面イメージ



Copyright©2023 Fukushima City,Fukushima,Japan,All Rights Reserved.